



目次

◇地域研究センター今年度の事業	1
◇新任研究員のご紹介	2
◇つがる西北五活性化協議会 ～次期青森県基本計画における地域別計画の策定に一助～	3
◇外国語会話講座のご案内	3
◇2013年度公開講座の予定	4

地域研究センター今年度の事業

地域研究センターで今年度予定されている各種事業・研究についてご紹介いたします。

I. パブリック・イノベーションの研究

—米国・インド・アジア諸国における国際的实践を踏まえて—

これまでの地域政策イノベーション実現におけるリーダーシップ研究を、国際的实践を踏まえて深化発展させるための研究です。地域行政におけるイノベーション研究を進め、具体的なモデル構築を行っていきます。

II. 自治体の経営会計システムの導入に関する研究

—自治体の『経営システム』と『会計システム』の 統合・融合した『自治体経営会計システム』の構築—

昨年度の自治体財務会計システムと自治体管理会計システムの現状・問題点の実態調査を基に、その解決策と自治体経営会計システムの構築を研究します。

III. 地域研究をめぐる言説に関する言語・文化・社会学的考察 II

—組織論的アプローチを援用して—

昨年度に行った地域の変遷と地域活性化をめぐる言説に関する研究を基に、地域活性化の基盤となる組織（地域）の特性を探り、地域の中にどのような学習効果を生み出しているかという「組織学習としての地域活性化」をテーマに行う調査・研究です。

IV. 地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査・研究 I

地域ハイブリッドコンテンツ配信手法の研究により得られた成果を実際に開発・運用することによって地域の情報コンテンツの配信における有効な配信手法を明らかにする実践的な調査・研究です。

V. 地域文化教育に関する情報発信事業 II

青森県の人材（人財）を養成するための事業です。地域資源とも言うべき、地域文化を外に向け発信することによって、市民、県民に対して貢献できる体制を構築する事業を継続しています。

VI. 地域ガバナンスの創造

—諸主体の経営およびネットワーク戦略—

平成21年度から23年度において行ってきた自治体経営研究及び、24年度の地域経営の再編・創造研究をガバナンス（統治）の視点から発展させ深化させる研究です。

新任研究員のご紹介

地域研究センターでは、今年度新たに2人の研究員が着任いたしました。青森県での地域研究にかける想いとともにご紹介いたします。

木暮 祐一 研究員

[Q. 本学ではどのような研究をする予定ですか？]

これまで長年にわたって、携帯電話やスマートフォンといった、いわゆる「モバイル」のサービス動向や利活用を専門に、当初は出版業界にてマスコミという立場から情報収集を続け、のちに大学に転向してからはこれらを研究として発展させてきました。青森公立大学ではICT（情報通信技術）戦略論という講義をはじめ、ICTやネットワークの社会応用を研究していく予定です。

ICTといえば、本来は情報通信機器やネットワークを活用していくことなのですが、ご存知のとおり急速なスマートフォン社会が訪れ、誰もがスマートフォン（＝通信機能を備えた持ち歩けるコンピュータといえます）を日常的に持ち歩く時代となりました。手のひらで様々な情報にアクセスでき、さらに自ら情報発信も可能です。

こうしたモバイル機器の利活用による産業活性化については中央省庁や通信事業者なども様々な施策や取り組みをしているところですが、本当に成果が出せるのは地域に根ざした利活用の実践だと考えています。これを青森を舞台に繰り広げてみたいと思っています。

[Q. 青森において、今必要なもの（事）は何でしょうか？]

ICTの利活用の基本は「情報」をやり取りすること。その「情報」を発信する側と受け取りたい側の人（やモノ）を確実に結びつけ、「情報」をつないでいくことが重要です。青森には素晴らしい情報のネタがたくさんあるのですが、うまく情報発信できていなかったり、また情報を欲しいとしている人に伝わっていない事例も多いようです。こうしたところで上手にICTを活用して、多くの方々に幸せにできないかと思っています。



<プロフィール> 博士（工学）

1967年、東京都生まれ。

1980年代後半より日本の携帯電話業界に注目し、2000年に（株）アスキーの携帯電話情報サイト『携帯24』を立ち上げ同Web編集長。2002年5月に携帯コンテンツ開発の（株）ケイ・ラボラトリー（現、KLab（株））広報担当マネージャーを経て、2004年11月に携帯電話研究家として独立。

2007年、携帯電話の遠隔医療応用に関する研究に携わり徳島大学大学院工学研究科を修了。2009年武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授。2013年、青森公立大学経営経済学部地域みらい学科准教授。

野呂 拓生 研究員

[Q. 本学に着任されたきっかけは何ですか？]

前職は、仙台のシンクタンク研究員でした。経済分析や地域活性化の調査などに携わっていましたが、腰を据えて地域を研究したいとも考えていました。そして昨年、本学の教員公募を知り、これまでの知識や経験を活かせると考え、応募しました。青森出身なので、身が引き締まる思いです。

[Q. 青森県の強みは何でしょうか？]

20年ぶりの郷土なのですが、驚いたのは強みが意外に多いということです。

最大の強みは、豊富な資源です。食材をはじめとした山海の資源はどこにも負けません。付加価値をつけて全国、全世界に訴求すべきです。

人材もすごい。例えば、地域振興にデザインやアートなどの側面を結びつけるといった、興味深い取り組みを進める人が出てきている。挑戦者が出てくる土地は、まだまだ発展できるはずですよ。

[Q. 本学ではどのような研究をする予定ですか？]

マクロとミクロの両面から、地域がイノベーションを実現するための方策を探ります。

マクロ面では、例えば、産業間の取引状況を網羅した統計表である産



<プロフィール> 博士（経済学）

2001年 東北大学大学院経済学研究科後期課程修了

2003年 東北開発研究センター 調査研究部 研究員

2005年 同 主任研究員

2010年 東北活性化研究センター 主任研究員

他 尚絅学院大学短期大学部非常勤講師
専門分野は地域経済分析、地域イノベーション

業連関表の分析です。私の手法は変わっていて、連関表が示す取引関係をネットワーク図として表現します。図は一見すると蜘蛛の巣のようで複雑なのですが、地域の特徴を見事に表現できます。産業支援施策に活かせる可能性があるため、研究を深めたいと思っています。

ミクロ的側面では、地域で頑張っている企業・団体、キーパーソンの行動原理を追求します。前述のとおり、青森県にも挑戦者がいます。これから挑戦したい人もいるはずで、彼らが存分に挑戦し、花開くためには何が必要なのかを探っていきたいと考えています。

青森には底力があります。どうやってそれを伸ばすか。皆様とともに考えていきたいです。よろしくお願いいたします。

つがる西北五活性化協議会

～次期青森県基本計画における地域別計画の策定に一助～

今年度、青森県西北地域県民局により行われる「つがる西北五活性化協議会」に栗村主任研究員が委員として携わることになりました。

この協議会は、西北地域の経済、風土、文化などの特性を生かした地域づくりを、管内の市町村、関係団体などと、地域住民とが連携して推進するものです。

青森県では、今年度中に「次期青森県基本計画」（平成26～30年度）が策定される予定になっており、7月までに西北地域に関する地域別計画が検討されています。

この地域別計画では、西北地域では特に、「生活創造社会」の実現を掲げ、そのための課題テーマとして「生業づくりの推進」と「暮らしやすさの向上」を重点としています。栗村主任研究員は「生業づくり」の担当進行役としてお手伝いをしています。

地域の意見の反映と、2030年における青森県の目指す姿について、地元委員の皆様とともに協議を続けています。



議論中の委員（右端が栗村主任研究員）

外国語会話講座のご案内

ご好評いただいています外国語会話講座を、本年は8月から順次、開催致します。受講料は無料です。（ただし、テキスト代は実費をいただきます。）

	コ ー ス	内 容	日 程	対 象 ・ 定 員
①	観光英語 初 級	観光・旅行業に必要な 初歩的英会話	8月10日(土)～9月14日(土) 10:00～11:00 全6回(毎土曜日)	社会人・学生・一般 各講座定員 10名程度
②	観光英語 中・上 級	観光・旅行業に必要な 実践的英会話	9月21日(土)～11月2日(土) 13:00～14:00 全6回(毎土曜:10月12日除)	
③	ビジネス・イングリッシュ 初 級	ビジネス場面に必要な 初歩的英会話	8月10日(土)～9月14日(土) 11:10～12:10 全6回(毎土曜日)	
④	ビジネス・イングリッシュ 中・上 級	ビジネス場面に必要な 実践的英会話	9月21日(土)～11月2日(土) 14:10～15:10 全6回(毎土曜:10月12日除)	
⑤	TOEIC対策	TOEIC600～700点を 目指すコース	8月10日(土)～8月31日(土) 10:30～12:00 全4回(毎土曜日)	社会人・学生・一般 定員:20名程度

本講座は、青森公立大学キャンパスで開講致します。申込方法等の詳細は、チラシをご確認下さい。

2013年度公開講座の予定

2013年度秋以降に下記の公開講座を予定しています。奮ってご参加ください。(いずれも無料)

場所 アウガ5階 男女共同参画プラザ研修室 **時間** 18時30分～20時30分(人間の探求は～20時15分)
定員 各講座 50名程度 **対象** 一般社会人・学部生・大学院生・高校生

①青い森「青森」の経済活性化に向けて「アクションプラン」を提言する

青森の社会・経済・産業・教育の活性化に向けて「具体的なアクションプラン」を提言いたします。

第1回	9月10日(火)	青森の「安全立県」に向けての提言	第4回	10月1日(火)	青森の「産業立県」に向けての提言
第2回	9月17日(火)	青森の「教育立県」に向けての提言	第5回	10月8日(火)	青森の「農業立県」に向けての提言
第3回	9月24日(火)	青森の「自治立県」に向けての提言	第6回	10月15日(火)	青森の「観光立県」に向けての提言

②人間の探求Ⅲ ー心理学と仏教からー

(共催：青森商工会議所)

人間の心・般若心経の歴史と思想について考えていきます。一緒に人間を探求してみましょう。

第1回	10月10日(木)	方向音痴の心理学	第3回	10月24日(木)	般若心経の歴史
第2回	10月17日(木)	嘘の心理学	第4回	10月29日(火)	般若心経の思想

③中小企業の「経営戦略」、「財務戦略」、「会計戦略」、

(共催：青森商工会議所)

「税務戦略」、「総務戦略」、「マーケティング戦略」を学び・磨く

経営理論を踏まえながら「具体的・実践的」に、中小企業の課題設定と問題解決について論じます。

第1回	11月5日(火)	中小企業の『経営戦略』を学び・磨く	第4回	11月26日(火)	中小企業の『ビジネスプランニング戦略』を学び・磨く
第2回	11月12日(火)	中小企業の『財務戦略』を学び・磨く	第5回	12月3日(火)	中小企業の中国への『海外マーケティング戦略』を学び・磨く
第3回	11月19日(火)	中小企業の『会計戦略』を学び・磨く	第6回	12月10日(火)	中小企業のロシアへの『海外マーケティング戦略』を学び・磨く

申込方法：開催日前日(必着)までに、お申込み下さい。申込方法等の詳細はチラシをご覧ください。

多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用下さい。経営相談も承ります。

〒030-0801 青森市新町1-3-7 青森駅前再開発ビル(アウガ)6階
 電話：017-718-7025 Fax：017-776-2082
 E-mail：lab@bb.nebuta.ac.jp
http://www.nebuta.ac.jp/machinaka_lab/index.html
 開室時間 13：00～21：00

(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5～8階公共施設休館日は、休業いたします。)